１－③ 公営住宅の整備推進について

東広島市の現状と課題・取組状況

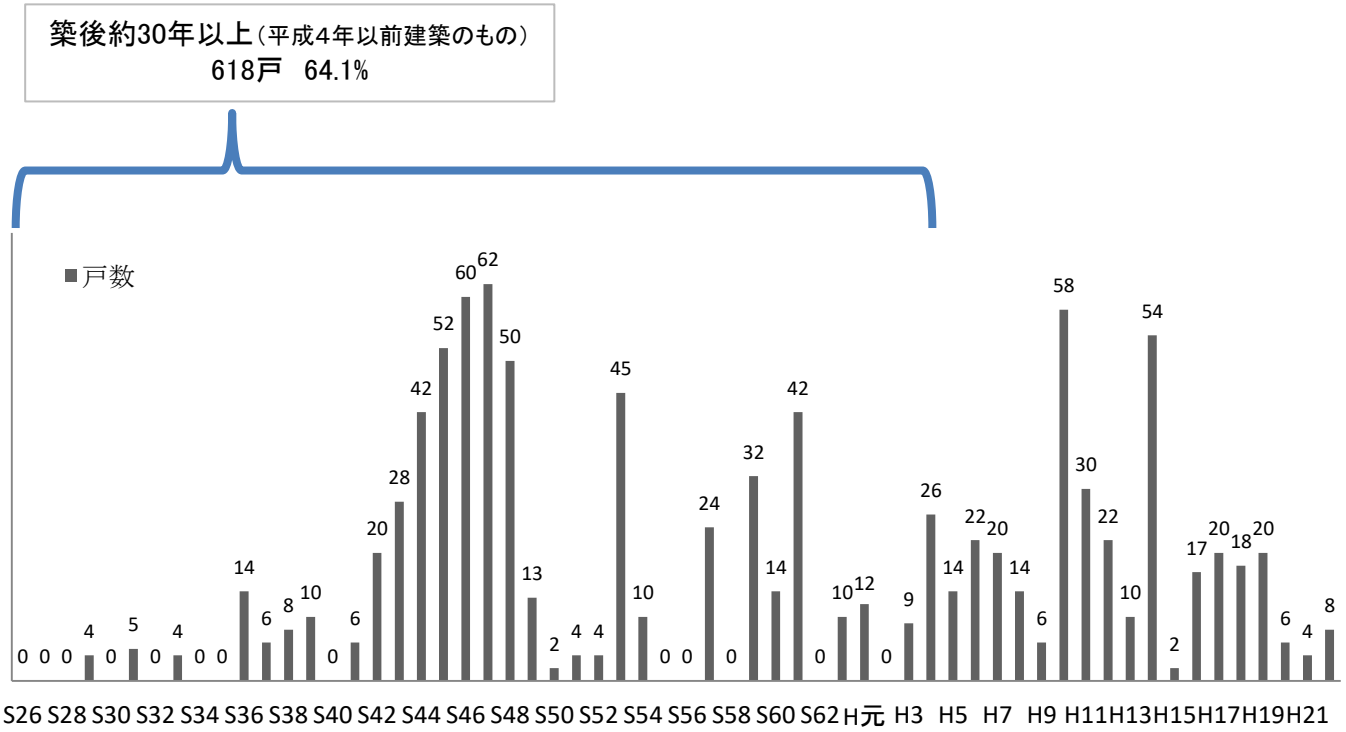
防災・減災及び経済成長に資する社会資本整備の促進について

〇本市は令和5年4月1日現在で963戸の市営住宅を保有しているが、築後30年以上経過した老朽住宅が618戸ある。

〇既に耐用年数を超えている住戸は355戸で、その割合は36.9%を占めており、今後、増々増加していく傾向にあることから住民の生活環境に悪影響を及ぼす恐れがある。

〇既存市営住宅の活用のためには、計画的に住戸改善工事及び長寿命化工事を実施し続ける必要があるが、公営住宅の整備を計画的に進めるうえで、国による交付金に期待するところは大きく、現状では市にとって大変厳しい交付状況となっている。

図　市営住宅の建設年別分布



昭和46年築　市営住宅

外壁劣化状況